

科目名 Subject	メイクアップⅠ Make-upⅠ			教員名	メイクチーム	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2単位	
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	60時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○	○		
科目の概要	スキンケアからベーシックメイクアップまでの日常的なメイクアップを中心に実習を行う。道具の使用方法、化粧品の種類や使用方法、メイクアップ技術の関する基礎知識と技能を学ぶ。メイクアップの基本技術を毎回1項目ずつ理解、実践、振り返り、課題を見つけ出し解決する。フルメイクアップをマスターした後は、世代によって変化する美、パーティーメイクアップなどの日常とは異なる美、着物に合わせたメイクアップを通して日本的な美などを学び、美容の現場で必要とされるメイクアップ知識、技能、様々な基準や価値観による美を表現できる技術者を育成する。					
授業方法	全30回対面授業。事前に教員作成資料による予習が必要である。知識の理解、習得、実践、振り返り、改善のプロセスを経て学習効果を高める。					
授業の目標	メイクアップの基礎知識（道具名称と使用方法、日常メイク、アンチエイジングメイク、和装メイクの手順）を理解し、練習の繰り返しにより技術を習得し実践できるようになる。シチュエーションや対象者に合わせ、習得した技術を応用し適切な技術の提供ができる。毎回異なる相手と組み、相モデルによる実習形式のため異なる相手の個性に合わせた課題があり、それらを解決する能力を高める。また本来、主観的な定義である『美』には人それぞれの価値観によって変化するため、多様性のある価値感による様々な美しさを表現できるようになる。					
時間外学習 （予習・復習）	付与された学生のアドレスに教員作成の資料が事前に送られる。各回の授業前にそれらを読み授業の内容、意味を理解しておく。授業終了後には課題が出されることがあるため自宅でデッサンや、スマートフォンで撮影した顔写真を指定された様式に添付し作品課題として提出する。また各回の講義内容を自宅で復習し、次回の授業に向けた準備とする。予習と復習、及び課題制作に必要な時間数は各回60分とし、合計で約30時間である。各回に必要な予習時間は10分、復習及び課題制作に必要な時間は50分を目安とする。					
教科書・教材	教科書		教員作成資料			
	教材		タオル3枚、ティッシュ、コットン、綿棒、消毒用アルコール			
	使用設備・備品		LEDライト、バックスクリーン、マイク等			
	参考文献		なし			
評価方法	実技試験25％、筆記試験25％、小課題25％、平常点25％					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。					
履修上の注意	提出課題は作品のデッサンと写真を提出してもらいます。やむを得ず欠席した場合は各自で作品制作を行い提出してください。					
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション メイクアップの意味を学ぶ。	人がなぜ化粧をするのかを理解し説明できる。	講義内容を自宅で復習(60分)。
第2回	化粧品の種類を学ぶ。	授業内で使用する化粧品の種類、名称、効果を理解し説明できる。	スマートフォンでのクラスルーム参加作業。講義内容を自宅で復習(60分)。
第3回	スキンケアの意味を学ぶ。	スキンケアの重要性と肌の美しさを理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習(50分)。
第4回	スキンケア化粧品の使い方を学ぶ。	何種類ものスキンケア化粧品の効果を理解し使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習(50分)。
第5回	ベースメイクアップ化粧品の種類を学ぶ。	ベースメイクアップの重要性と化粧品の種類を理解し実践できる。	事前にデータで送られた資料による(10分)予習。終了後講義内容を自宅でスキンケアから下地作りまでの技術を復習(50分)。
第6回	コントロールカラー、コンシーラーを学ぶ。	コントロールカラーとコンシーラーの使用目的の違いを理解し、使い分けができる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習(50分)。
第7回	肌色の色彩に対し基本的な知識を学ぶ。	顔面の色彩を理解し明度、彩度、色相の概念を理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習(50分)。
第8回	ファンデーションの種類と使い方を学ぶ。	ファンデーションの種類と特性を理解し、リキッドファンデーションを使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習(50分)。
第9回	フェイスパウダーを学ぶ。	フェイスパウダーとそれを使用するための道具を使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習(50分)。
第10回	ハイライト、ローライトを学ぶ。	人種による顔の立体感の違いを理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による(10分)予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習(50分)。
第11回	フェイスプロポーションを学ぶ。	顔の形やパーツの配置を理解し、メイクアップ施術に応用できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第12回	アイシャドウの基本的な使い方を学ぶ。	アイメイクアップの意味を理解し、3色のアイシャドウが使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第13回	目の形に合わせたアイシャドウの使い方を学ぶ。	アイシャドウの塗り方が何種類もあり、その違いを理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第14回	アイシャドウを塗る位置と様々な塗り方を学ぶ。	錯覚を利用し目の位置や角度の変化をつけられる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第15回	アイライン、マスカラ、ビューラーの基本的な使い方を学ぶ。	アイライン、ビューラー、マスカラが使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	アイラインとマスカラによって目の形を変えてみせることを学ぶ。	求められる目の形に合わせアイライン、マスカラの塗り方を変化させられる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第17回	アイブロウを描く意味を学ぶ。	アイブロウによって顔の印象が変化することを理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第18回	アイブロウの描き方を学ぶ。	アイブロウを描く道具の種類を理解し、描くことができる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第19回	リップメイクを学ぶ。	リップメイクの道具種類を理解し、描くことができる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第20回	チークメイクアップを学ぶ。	チークカラーによる印象の変化を理解し、使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第21回	メイクアップのバランスを学ぶ。	各パーツのバランスがとれたメイクアップを表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第22回	カラーハーモニーを学ぶ。	色の調和がとれたメイクアップを表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第23回	着物全般に合わせたメイクアップを学ぶ。	洋装と和装のメイクアップの違いを理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第24回	留袖のメイクアップを学ぶ。	留袖に合わせたメイクアップが表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第25回	学生自身の年代とは異なるスタイルのメイクアップを学ぶ。	自分の好むスタイルと異なるメイクアップを施すことができる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第26回	30代以上が好むメイクアップを理解し、美の基準には多様性があることを学ぶ。	メイクアップによる若々しさや上品さを、可愛さよりも前面に出したメイクアップができる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第27回	パーティシーンのベースメイクアップを学ぶ。	クリームファンデーションが使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第28回	パーティシーンのポイントメイクアップを学ぶ。	パール、ラメ、つけまつげ、リップグロスが使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第29回	トータルメイクアップを学ぶ。	鏡を通してモデルの顔をチェックし、左右対称なメイクアップが施せる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。
第30回	基礎メイクアップ全般の意味を学ぶ。	メイクアップIで学んだこと全般を統合して理解し表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習(10分)。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習し、提出課題を作成する(50分)。